



HPVワクチンの公費接種

高校1年相当が最終年度

小学6年～高校1年生相当の女の子が対象

高校1年^{相当}

(今年4月1日時点で15歳)の女の子
と保護者の方へ

公費による
HPVワクチンの接種を希望する方は
2026年3月末までに
計画的に接種すること

をご検討ください。



小学校6年～高校1年相当の女の子を対象に

子宮頸がん予防のためのHPVワクチンの
公費による接種を提供しています。

高校1年相当(今年4月1日時点で15歳)の女の子は、

公費による接種期間の最終年度にあたります。



○HPVワクチン接種は**合計3回(※1)**で、完了するまでに約6か月かかります。

○公費による接種を希望する場合は、遅くとも**今年の9月(※2)までに**1回目のワクチンを接種する必要があります。

○公費による接種が終了となる来年の3月末は、**予約が取りづらくなる可能性**もありますので、**余裕をもったスケジュールでの接種**をご検討ください。

(※1) 15歳未満で9価HPVワクチンを接種した方は、合計2回で完了する場合があります。詳しくは市町村にお尋ねください。

(※2) 最短4か月で接種を完了することもできます。その場合は、遅くとも今年の11月までに1回目のワクチンを接種する必要があります。

HPVワクチン接種について
もっと詳しく知りたい方はこちら

厚生労働省ホームページ

厚労省 HPV 検索



HPVワクチンに関する
よくあるQ&Aはこちら



対象の方には、お住まいの市町村から接種券が届いています。

お手元にない場合は、再発行も可能ですので、市町村にお問い合わせください。



ひと、くらし、みらいのために

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

2025年7月